

宮城県感染症発生動向調査情報(第8週)

— 2013.2.18 ~ 2.24 ・ 第8週 患者発生数(定点医療機関) —

疾 病	保 健 所							仙台市 患者数	全地区 患者数	傾 向	コ メ ト
	仙 南	塩 釜	大 崎	栗 原	登 米	石 卷	気 仙 沼				
インフルエンザ	100	114	113	33	88	71	64	425	1008	◎	— 今週の全数報告疾病 — 1類感染症：報告なし 2類感染症：結核
咽頭結膜熱		1		1				14	16		※男児、女児は6歳未満
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	23	23	5	5	3	41		30	130	◎	塩釜管内 女性 1名 大崎管内 女性 1名 栗原管内 男性 1名 登米管内 女性 1名 仙台管内 男性 2名
感染性胃腸炎	35	47	16	23	30	85	18	144	398	◎	
水痘	9	19	10	3	2	10	2	28	83	◎	
手足口病	1		3			1		2	7		
伝染性紅斑	2	2	1						5		
突発性発疹	1	3	2	2	3	7	2	15	35	○	
百日咳		1						4	5		
ヘルパンギーナ			1		1			1	3		
流行性耳下腺炎	2	5	1		1	7	3	7	26	○	— 今週の感染症のコメント — 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 [インフルエンザ]： 仙南、大崎管内で警報継続中。
急性出血性結膜炎											栗原、登米、気仙沼、仙台管内で注意報継続中。
流行性角結膜炎		1									※患者数は県全体では減少傾向にあるが、全国的にはまだ流行が続いている。また仙台ウイルスセンターでインフルエンザA型(H1)pdmの検出がみられ、他にB型も検出されていることから、引き続き十分注意が必要である。
RSウイルス感染症		2	1					6	9		[感染性胃腸炎]： 石巻管内で警報継続中。
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)								1	1		※患者数は横ばい状態であるが、施設におけるノロウイルスが原因の集団発生も報告されているので今しばらく注意が必要である。
無菌性髄膜炎											インフルエンザ、ノロウイルスが原因の感染性胃腸炎はいずれもウイルス感染症で、予防策として手洗い・うがいの励行が必要である。
マイコプラズマ肺炎	1	1	10			3	14	5	34	レ	
クラミジア肺炎(オウム病除く)											
川崎病											
不明の発疹性疾患								1	1		

《ウイルス分離状況》 2.11(第7週) ~ 2.24(第8週) 独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター 臨床研究部 ウイルスセンター提供

Flu	Para	RS	Mumps	Measles	Adeno	Enter	Rhino	HSV	CMV
7		5							